

- 問1 現代の工業において、介護ロボットを組み立てたり、生活を便利にする製品を作ったりする工業が重要視されている一番の理由は何でしょうか。
- 問2 自動車工場で完成した車を、国内の遠くの販売店まで運ぶときに、もっともよく使われる乗り物は何ですか。
- 問3 鋼鉄（こうてつ）やアルミニウムなどでつくられた箱のことで、これに荷物を入れて運ぶことで、いろいろな交通機関への積みかえなどに便利になるものは何ですか。
- 問4 愛知県を中心として、自動車の生産などがとてもさかんな工業地帯の名前は何か。
- 問5 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネットなど、情報を伝える手段のことを何といいますか。
- 問6 自動車工場で「流れ作業」を取り入れる一番の目的は何ですか。
- 問7 原料を輸入し、それをもとに作った製品を輸出する貿易のことを何といいますか。
- 問8 日本で作られた自動車を、海をこえて外国へ売りに行く「輸出」のときに、一番多く使われる乗り物は何ですか。
- 問9 自動車工場で、多くの車を短時間でつくるために、作業を細かく分けて担当者が順番に行う仕組みを何といいますか。
- 問10 関東地方の南部から九州地方の北部にかけて広がっている、工業がとてもさかんな地域のことを何といいますか。
- 問11 日本の工業において、全国にある工場の数のうち、ほとんど（約99パーセント）をしめているのはどのような工場ですか。
- 問12 コンテナを使って荷物を運ぶことには、どのような良い点がありますか。
- 問13 お米を原料にして、おいしいお菓子を作る工場は、どの工業の仲間に分類されるでしょうか。
- 問14 日本と外国の間でやりとりされる「輸出入」において、輸送手段として船が中心的な役割を果たしている最大の理由は何ですか。
- 問15 日本が発展するうえで大きな役割を果たしてきた「加工貿易」とは、どのような貿易ですか。
- 問16 自動車の組み立て工場の近くにあり、組み立てに必要な部品をつかって、必要なタイミングで届ける工場のことを何といいますか。
- 問17 昔と比べて、現代の日本の工業生産において「重化学工業」がとても重要になった一番の理由はなぜでしょうか。
- 問18 新鮮な魚介類や、はやく届けなければならない大切な製品を運ぶときに、飛行機がよく選ばれるのはなぜですか。
- 問19 日本が最も多くの鉄鉱石を輸入している国はどこですか。
- 問20 日本の工業において、工場数は全体の1%未満と非常に少ないのに、製品の出荷額（生産額）では全体の約半分という大きな割合を占めているのは、どのような工場ですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 人々の生活を助け、より豊かな暮らしにするため	機械工業は、単に機械を作るだけでなく、介護ロボットのように人々の体や心の負担を減らしたり、家事の時間を短くしたりすることで、私たちがより便利で豊かな暮らしを送れるように支えています。このように、現代の工業は人々の生活を助けるために、さまざまな技術を組み合わせて発展しています。
問2	答え トラック	国内の移動では、完成した自動車を何台も積むことができる専用のトラックが主に使われます。飛行機は一度に運べる数が少なく、コストも非常に高くなるため、自動車の大量輸送には適していません。
問3	答え コンテナ	鋼鉄やアルミニウムなどでつくられた箱のことで、荷物を入れて運ぶことで積みかえが便利になります。
問4	答え 中京工業地帯	愛知県は自動車産業が非常にさかんで、その周辺に多くの工場が集まっています。このように、日本には地域によって特色ある工業地帯がいくつか存在し、中京工業地帯はその代表的な場所の一つです。
問5	答え メディア（マスメディア）	テレビや新聞、インターネットなど、多くの人に情報を伝えるための手段をメディア（マスメディア）といいます。
問6	答え たくさんの車を効率よく作るため	流れ作業は、それぞれの担当が自分の作業に集中して役割を分担することで、無駄を減らして短い時間で多くの製品を完成させるために考え出された仕組みです。
問7	答え 加工貿易	原料を輸入して、国内で製品に組み立てたり加工したりしてから輸出する貿易を加工貿易といいます。
問8	答え 船	外国への輸出には、巨大な船（自動車運搬船）が使われます。一度に数千台もの自動車を運ぶことができるため、飛行機や鉄道と比べて、海をこえて大量に運ぶのに最も適しているからです。
問9	答え 流れ作業	流れ作業とは、一つの製品を完成させるまでに、作業をいくつかに分けて、担当者が順番に行う生産方法のことです。この方法により、効率よく大量の製品を作ることができます。
問10	答え 太平洋ベルト	関東地方の南部から九州地方の北部にかけて、工業がさかんな地域が帯（ベルト）のように連なっているため、太平洋ベルトと呼ばれています。
問11	答え 中小工場	日本の工場全体の約99パーセントは、従業員数が299人以下の中小工場です。数が非常に多いため、身近な製品を作る役割などを担っています。
問12	答え いろいろな交通機関への積みかえが便利になる点	コンテナに荷物を入れて運ぶことで、船や鉄道、トラックなどのいろいろな交通機関への積みかえが便利になります。
問13	答え 食料品工業	私たちの毎日の食事に関わるものや、飲み物、お菓子などを作る工場は「食料品工業」と呼ばれます。食料品工業は、農作物や水産物などの原料を加工して、私たちが食べやすい形にして届けるという大切な役割を担っています。
問14	答え 重い荷物や大量の荷物を効率よく運べるから	外国との貿易で運ぶ荷物は、重かったり量がとても多かったです。船は一度にたくさんの荷物を運べるため、コストを抑えて安全に輸送することができます。日本の国際貨物輸送のほとんどが船で行われているのは、この効率の良さが理由です。
問15	答え 原料を輸入し、それをもとに作った製品を輸出する貿易。	日本は資源が少ないため、原料を輸入して、それをもとに作った製品を輸出する加工貿易によって発展してきました。
問16	答え 関連工場	組み立て工場のすぐそばにある部品工場は「関連工場」と呼ばれます。組み立て工場の生産ラインの進み具合に合わせて、必要な部品を必要な分だけ届けることで、在庫をためることなく効率よく自動車をつくることができます。
問17	答え 機械をつくる技術が発達し、人々の暮らしを支える製品がたくさん必要になったから	機械や金属、化学製品を扱う重化学工業は、時代の進歩とともに技術が大きく成長しました。私たちの生活に欠かせない自動車や電気製品などはこの工業によってつくられており、現代の日本経済の中心として、人々の豊かな生活を支える重要な役割を果たしています。
問18	答え 輸送にかかる時間をできるだけ短くしたいから	飛行機は、時間がかかってしまう船やトラックとは違い、遠く離れた場所へ一番はやく荷物を届けることができます。そのため、鮮度が大切な食べ物や、今すぐ必要な部品などを運ぶときに、コストが高くても飛行機が活用されています。
問19	答え オーストラリア	2020年時点のデータでは、日本が輸入する鉄鉱石の割合として、オーストラリアが最も多くを占めています。次いでブラジルなどからも多くの鉄鉱石が運ばれています。

問20 答え
大工場

日本の工場は、全体の99%以上が中小工場ですが、大工場は数は全体の1%未満と非常に少ないにもかかわらず、製品の出荷額（生産額）では全体の約半分を占めています。大工場は、広い敷地や最新の機械を使い、多くの製品を効率よく生産しているためです。
